

平成24年度 特別推進研究 審査の所見

研究課題名	物質構造科学の新展開:フェムト秒時間分解原子イメージング
研究代表者	谷村 克己
審査の所見	<p>本研究は、応募者がこれまでに開発を進めてきた、フェムト秒オーダーの時間分解能を有する電子回折装置に透過電子顕微鏡機能を付加して、同様の時間分解能で物質の状態変化を原子レベルの空間分解能で追跡する顕微鏡を世界に先んじて開発し、主として光励起による相転移挙動の素過程を明らかにしようとするものである。物質内で生ずる高速な状態変化を高い時間分解能で明らかにすることは、物性科学や材料科学の分野に、大きな影響を与える可能性が高い。本研究の実施により、世界に誇る独創的研究成果を挙げることを期待されることから、特別推進研究として推進することが適当と判断した。</p>